



ルーツは、ウチナーンチュ

移民の歴史に学ぶ、次世代の国際交流

第四回世界のウチナーンチュ大会に向けて、県内の学校では、移民として海外に渡った県人の歴史や移民国の文化などについて学び、移民県沖縄らしい国際交流をめざす「一校一國運動」に取り組んでいます。

世界で活躍するウチナーンチュをお手本に

「二校一國運動」ペルー交流パイロット校 中部商業高等学校



移民について熱心に勉強する生徒達

ペルー交流のパイロット校である中部商業高校では、英語や国際ビジネスなどを学ぶ国際流通科を中心に、移民について学んでいます。

担当の小菅(こすげ)先生は「言語や習慣などが異なる中で、苦勞して生活を確立し、農業ビジネスに成功した移民もいる。活躍の場は世界中にあるということを知ってほしい」と語っています。

これまで生徒たちは、JICAなどが主催する講座への参加や発表のほか、ペルーの歴史、文化遺跡、言語(スペイン語)をテーマにした壁新聞を作成するなどペルーへの理解を深めてきました。

また、ペルー県人会へ手紙やクラスの写真も送っており、大会で、ペルーの方々に会えることを楽しみにしています。



教室の窓に掲示している壁新聞

ペルーと沖縄、交流の場所づくりにやりがい

名護市語学教育専門嘱託員 城間ジョバナさん (ペルー移民系四世)

城間ジョバナさんは、十歳の頃、政権交代などのために社会情勢が不安定になったペルーから、家族で沖縄に移住しました。

沖縄に来て驚いたのは、初めて雨を見たこと。ペルーでは雨がほとんど降らず、アンデス山脈の雪解け水が水源なのだそう。

異なる環境にとまどいながらも、ジョバナさんは名護市の名桜大学に進学しました。

しかし、沖縄の友人とは、子供時代の共通の体験や思い出が無いことに気づき、二十二歳のとき、ペルーへ自分

探しの旅に出ました。

十二年ぶりのペルーでスペイン語を話しながらも自分と同じ顔つきの友人と再会し「やっぱり自分は日系人なのだ」と実感したそうです。

卒業後、ジョバナさんは、名護市で南米からの研修生の受け入れを行う一方、ペルーで開かれた名護市郷友会のパーティーで司会を務めるなど、両国の交流を支援しています。また、大会を盛り上げるため交流員の仲間と「南米の文化フェア」に取り組んでいます。



城間ジョバナさん

ペルー移民歴史物語

南米移住の第二步を記した、ペルー移住百周年への道

明治三十九年十二月、ペルー北部のサンタ川流域にある小さな港に日本から三回目の農業契約移民七百七十四人が到着しました。このうち、沖縄県人三十六人が、初めて南米の土を踏み、県系ペルー移民のパイオニアとなりました。

県人たちは、サンタ港からおよそ二十四キロの道をロバで「サンタ・クララ耕地」へ向かいました。

米と綿花を栽培するこの一大プランテーションには、馬小屋のような家や粗末な食事しかなかったため、栄養失調やマラリアにかかる人が相次ぎ、亡くなる人も出ました。

それでも県人たちは、二日も早く故郷へ送金しようと必死になって働きました。ちなみに、ペルーに初めて水田式稲作を導入したのは、こ



移民36名の氏名が刻まれている入植記念碑 (北部サンタクララ耕地)

の頃の県人だと言われています。

そして、大正十三年にペルーへの農業契約移民制度が廃止されると、家族に呼び寄せられた自由移民が増え、沖縄からの渡航者が全国の半数以上にも及びました。

自由移民は、農業のほか、床屋、レストラン、雑貨店、小売業など、さまざまな分野に活路を開き、首都リマなどに定着していきました。

サンタ・クララ耕地に沖縄移民が渡ってから今年で百周年。

昭和十五年頃の排日運動や第二次大戦による強制収容、戦後の政情不安など幾たびもの困難に襲われながらも、ペルーの県人たちは、現在、約六万五千人と日系人社会の過半数を占めるほどに繁栄しています。(ペルー移民七十五周年記念誌「参照

CONTENTS

- 2 第4回世界のウチナーンチュ大会 ルーツはウチナーンチュ
- 4 県政フラッシュ
- 6 特集1 ジュニアスタディーツアー開催!
- 8 特集2 10月から老人医療費が変わります
- 10 特集3 「人の動き」から将来の都市交通を考える
- 12 亜熱帯 美ツクリレンズ ーやんばるに暮らす生き物たちの素顔ー
- 14 愛ランドまーい 地域がはぐくんだ、ふれあいのつながりを訪ねて
- 16 県の動き1 琉球王朝時代の文化と沖縄観光の飛躍を求めて
- 17 県の動き2 めざそう8020! むし歯と歯周病の予防
- 18 情報広場 おしらせ
- 20 おきなわ夢人列伝

表紙写真
「花の島、沖縄四季抄」
9月号表紙写真 「オキナワセッコク」
写真：久高 将和 (くたか まさかず)

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならずにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

沖縄県広報課 TEL.098-866-2020
http://www.pref.okinawa.jp/churahome/

第4回
世界のウチナーンチュ大会

前夜祭 平成18年10月11日(水)
本大会 平成18年10月12日(木)～15日(日)
会場 沖縄コンベンションセンター・宜野湾市立体育館
宜野湾海浜公園・宜野湾市民会館・沖縄県立武道館
奥武山総合運動公園・沖縄県総合運動公園

Event

11 WED 前夜祭パレード
各国からの参加者が思いの衣装で国際通りをパレードします。

12 THU 開会式
開会宣言、各国県人会紹介、ウチナー民間大使紹介を含め、感動的な演出による歓迎のセレモニーを行います。

15 SUN フィナーレ
大会の成功を祝い、ウチナーネットワークの継承と発展を全員で誓う感動のフィナーレ。

経済交流
ワールドバザール ワールドビジネスフェア

スポーツ交流
国際交流ゲートボール大会 空手道・古武道交流祭

文化交流
ウチナーンチュ交流祭 沖縄伝統芸能祭 沖縄郷土劇場

ウチナーネットワーク
ウチナーンチュシンポジウム ワールド学生会議